

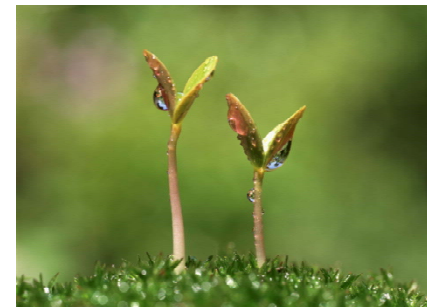
# 人むすびの場

第20回テーマ  
“若者の支援のしかた”

日時	平成22年2月24日(水) 午後7時～9時
会場	スペースU
企画運営	“人むすびの場”づくり企画運営チーム

# “人むすびの場”をともに創りませんか？

- 「むすひ(産霊)」とは、ものを生み出す力のことを表す古語です。場には、不思議な力が宿ります。何かが生まれ行くエネルギーに満ちています。
- “人むすびの場”は、人と人の思い、能力・スキルを結び合わせ、創発のパワーを発揮して、新しい共生(ともいき)の世界を切り拓いていく、つながりづくりの場を意図しています。
- 私たちの世界は、「人と自然」「人と人」のつながりが薄くなり、様々な問題を抱えています。でも世の中には人財、知恵もそこかしこにあり、結び合うことで問題解決のパワーも生まれてくるに違いありません。
- そのための、お互いの思いと知恵を分かち合う対話と創発の場をご一緒に創っていきませんか？
- 場を活かし、つながりを創り、行動していきたい！ こんな思いをつなぎ、今まで自分のやりたかったことに、さらに発展的に取り組むきっかけづくりにしていただけたらと思います。
- “人むすびの場”を、単なる勉強会や異業種交流会とは考えません。「生きがい」とか「やりがい」とは何か、ちょっとしたことから世の中がよくなったら嬉しい・・・このような思いを分かち合うことから、何かが変わることを信じている人々の集まりにしたいと思います。
- 「人むすびの場づくり企画運営チーム」へも是非ご参画ください。
- 新しいアイデア・企画の提供など、もろもろご意見をお待ちします。



# プログラム

- 19:00 ◆オリエンテーション 人むすびの場とは  
“人むすびの場”づくり企画運営チーム 高重 和枝
- 19:05 ◆スピーチ  
「若者の支援のしかた」  
番野 和敏さん(NPO法人NEWVERY(旧コトバノアトリエ) 副理事長、トキワ荘プロジェクト統括ディレクター)  
柴田 直哉さん(同理事、日本中退予防研究所 所長)
- 19:50 ◆人むすびカフェ  
ファシリテーター 角田 知行さん
- 20:55 ◆本日のまとめ
- 21:00 終了  
交流会(うさぎ)



## 「若者の支援のしかた」 ゲストスピーカー

番野 和敏さん(NPO法人NEWVERY(旧コトバナアトリエ)

副理事長、トキワ荘プロジェクト統括ディレクター)

柴田 直哉さん(同理事、日本中退予防研究所 所長)

**若者たちが未来に希望が持てる社会をつくるために、  
「若者の成長と職業的自立」を支援していきます！**

- 私どもの山本繁代表が、学生時代に自分にはやりたいことがないけど、やりたいことのある人を支援しようと思い立ち、「NPOコトバナアトリエ」を起業。2009年に法人化して、「NPO法人NEWVERY」に名称変更しています。
- トキワ荘プロジェクトは、夢を持って東京に出てきたプロの漫画家志望者を主に低家賃住宅によって支援するプロジェクトです。クリエイターとしてのスタートアップ期に「食べていけるまで」を支援しています。
- 生活を支える部分と、専門学校では、出版社との付き合い方とか、自分の作品をどう売り込み、どう食べていくのか、といった部分を教えきれないところを、「低家賃住宅」と「成長を後押しするサービス」の両面から提供していることが私たちの価値だと思っています。
- 同じ志を持った仲間と切磋琢磨するコミュニティをつくり、メンターとしてタテのつながりづくりと、自立への支援をすることで、もう、10名デビューを果たしました。今年の夏には支援した漫画家は100名になります。
- 一年間で大学・短大・専門学校を中途退学する学生の数が、13万～14万人、大学・短大・専門学校の中退学者が正社員になれる確率が26%、大学・短大・専門学校を中退者のうち、5年後もニート・フリーターである確率が6割というデータがあります。
- 私たちが、日本中退予防研究所を設立した経緯をお話します。ニート・フリーターになる経路は学校を卒業あるいは中退してなるか、仕事やアルバイトを辞めてなることに気づきました。
- ニート・フリーターになってからの支援は、膨大な時間と労力が必要です。そこで、ニート・フリーターになる前からの予防が出来ないのか？を考えるようになりました。ニート・フリーターになってしまう理由を調べていく中で、高等教育を中退することによるリスクの高さと人数の多さに注目。大学・短大・専門学校の中退者とじかに接触し、インタビュー調査から多くの中退者は何らかの問題を抱えているわけではなく、いわゆる普通の学生であることが判明しました。
- そこで、日本中退予防研究所では、中退者へのインタビュー、シンポジウムの企画・実施、中退白書の作成・配布などのソーシャルプロモーションを行い、中退を社会問題化すると共に、大学・短大・専門学校に対するコンサルティングを実施し、問題提起と共に解決策を提供していきます。



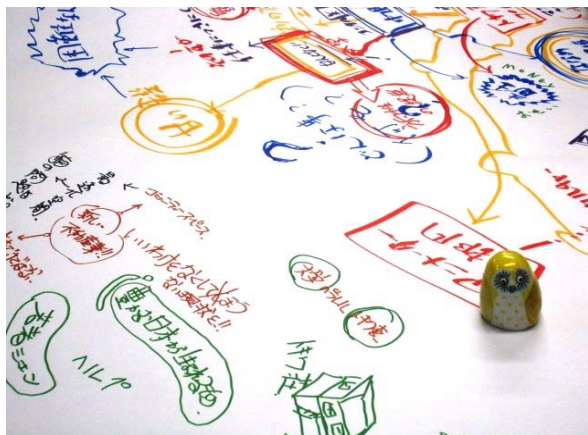
【番野 和敏さん】



【柴田 直哉さん】



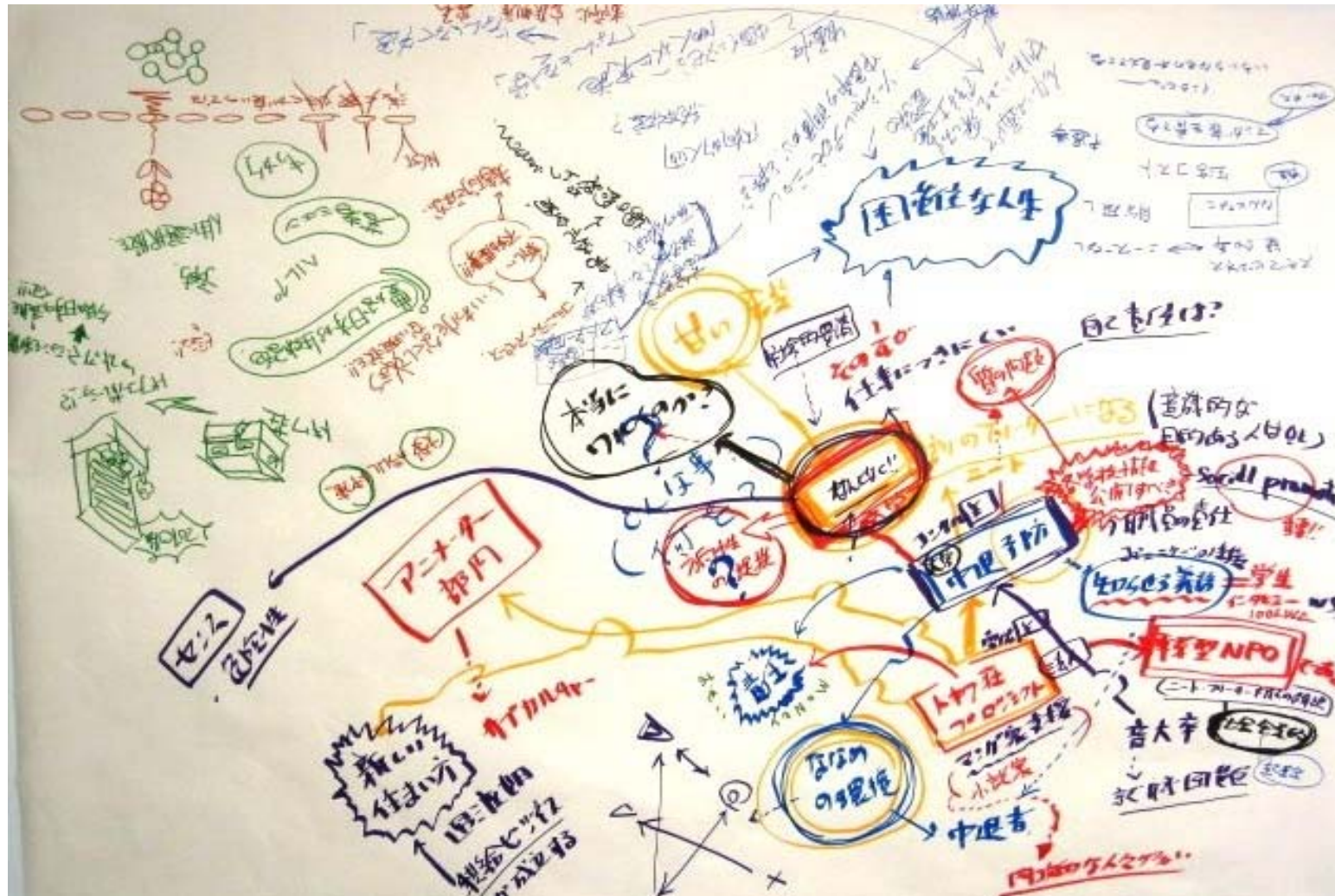
# 人むすびカフェ



# 人むすびカフェ

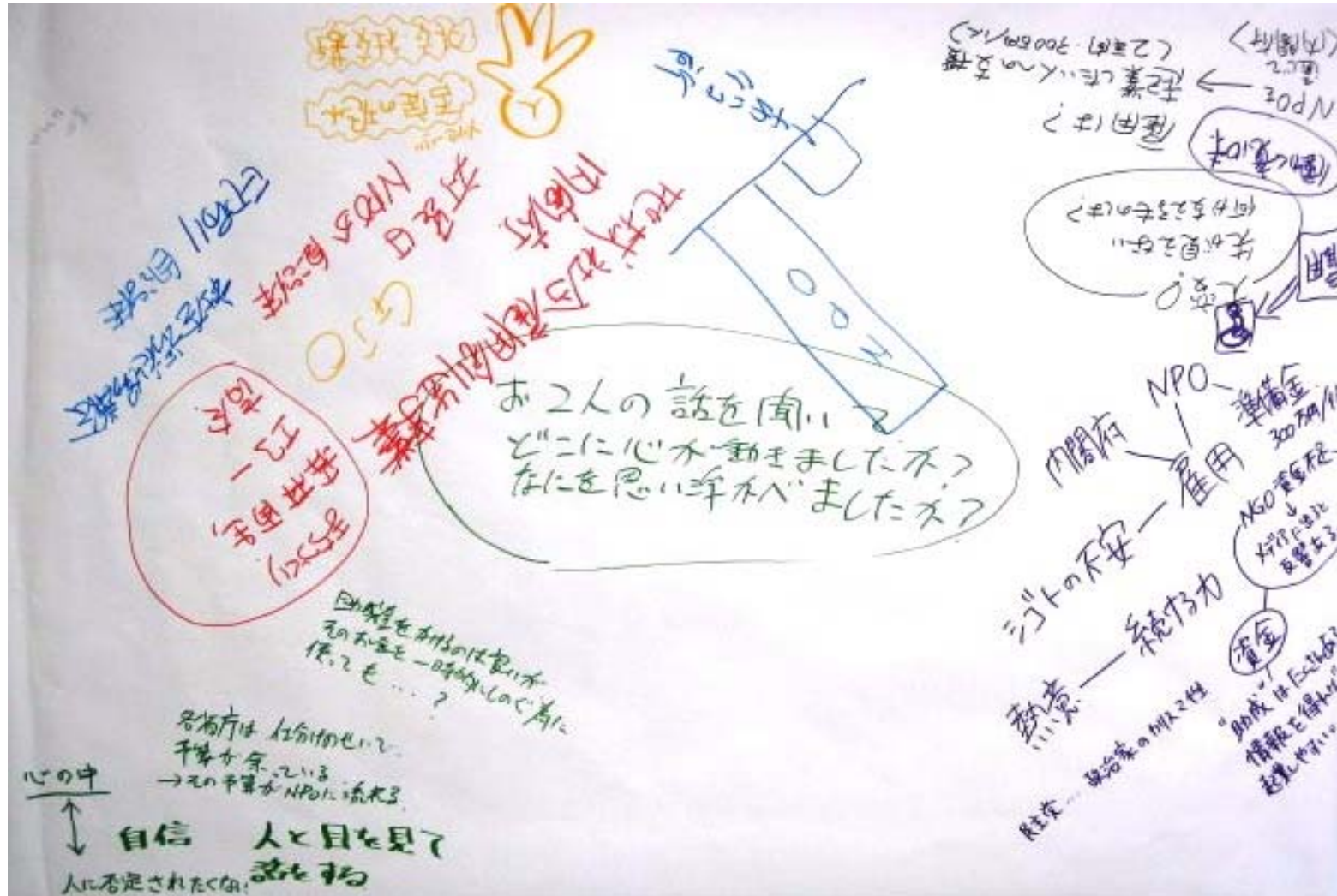
「お二人のお話を聞いてどこに心が動きましたか？」

「何を思い浮かべましたか？」



# 人むすびカフェ

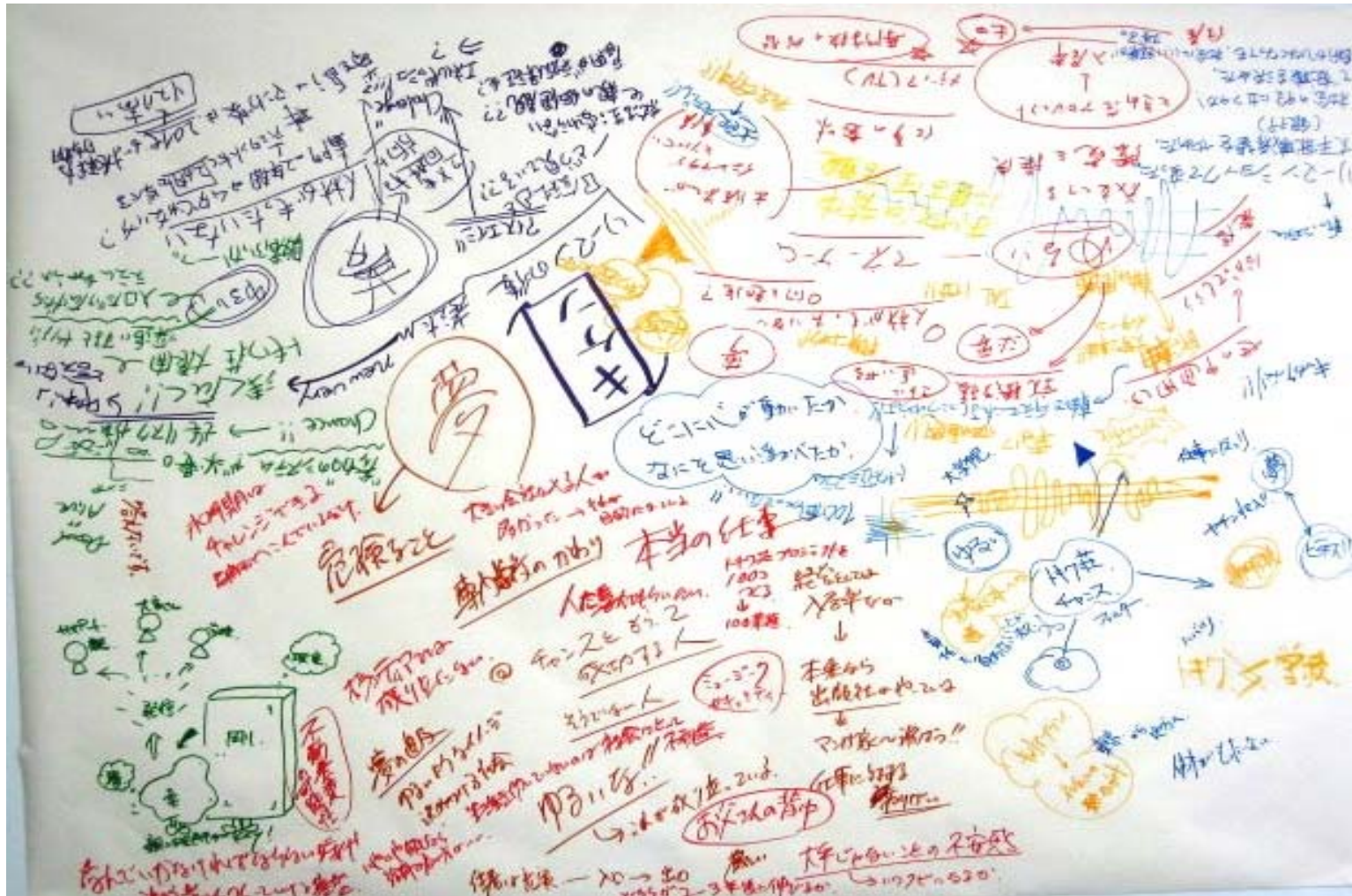
「お二人のおはなしを聞いてどこに心が動きましたか？」  
 「何を思い浮かべましたか？」



# 人むすびカフェ

「お二人のお話を聞いてどこに心が動きましたか？」

「何を思い浮かべましたか？」





# 人むすびカフェ

「お二人のお話を聞いてどこに心が動きましたか？」  
 「何を思い浮かべましたか？」



## 本日の感想①の1

\* 今日、どんな気づきがありましたか？

- ・多くの人が「社会の行き詰まり」に危機感を持ち、違う道をつくりはじめていることを確信しました。
- ・NPOとしてトキワ荘／中退予防が、自立したビジネスであることが希少であること。中にいたら知らなかった・・・。
- ・良い案をたくさん聞く事が出来ました。
- ・ニッチをつなぐ
- ・社会の方が変わったことによって「なんとなく入学」とか「なんとなく中退」という問題が“問題”になったのだということ(に気付いたこと)
- ・人が喜ぶことを仕事にしようという人がいた。
- ・話に加わるにはもっと勉強が必要であると思いました。
- ・やはり、もっとしっかり事業の説明が出来てないといけないかもと思いました。
- ・参考として「全体性」と「断片性」の問題がある(社会的存在がバラバラになっている)
- ・NPO活動がまだまだ認知不足、理解不足されていると思いました。
- ・高校中退も多いが、その先の中退も多い。日本は中退社会？
- ・トキワ荘を別の分野でも広げたらおもしろい。
- ・新卒でNPO正職員という道を選んだ人が居ること

## 本日の感想①の2

\* 今日、どんな気づきがありましたか？

- ・今の社会、特に「金」中心の世の中で、人々がもっとこち良い思いや心を共有したいという願いと現実の「生活」時に都会で暮らしていくあり方が問われているということに気づきました。
- ・皆さん熱心で対話が進んだと思う。
- ・事業型NPO なんとなく 夢
- ・NPO職員自体の意識、社会的に良い事をする人は豊かになる事を自信を持って胸を張ってほしいと思いました。
- ・他の方達とシェアすることの大切さ。(いろいろな意見を聞いて視野を広げることの大切さ)

## 本日の感想②

### \* 一番、印象に残ったこと(キーワード)はどんなことでしたか？

- ・トキワ荘プロジェクトを100個つくる → 100の業種でゆるやかに
- ・トキワ荘は、深くいくと危険。浅く広く、たんに「キッカケ」を与える事業になればよい。  
氷河期はチャンスだ！
- ・伝えたい事を否定されるのがつらくて前に進めない人の存在
- ・場の提供
- ・社会課題としていったい何だったのだろうか。「若者に投資する」ことだ。
- ・おやじの背中を見て、仕事を決めた(22才女性)
- ・自助努力よりもセーフティネットの必要を説く人が多かったこと
- ・上手くいっているのですか？と良く聞かれること
- ・「なんとなく」(→これは「おもいしろい」)がキーワードだった。
- ・「事業型NPO」 → これは「非営利型」株式会社と連携することばだと、  
アートスクエア千代田のとき知った
- ・「事業型NPO」 → ビジネスのねらいが面白かった 家賃／コンサル
- ・NPOとして良いことをしたいというだけではなく、お金も稼いでいかないといけない。
- ・「トキワ荘」「投資」「なんとなく入学」
- ・大人の背中
- ・「今のこの話はこち良くない」と云われた言葉が気にかかりました。  
このグループではNPOと働く人の給与の問題が中心になり、お金の話が中心になった。
- ・ハンディキャップのある人の雇用、問題点、方向が見えたよう。
- ・答えは出ませんがいろいろヒントがありました。
- ・マネーとソーシャルのモチベーションのバランス感覚
- ・チャレンジする機会を与える

## 本日の感想③

\* その他、よかったこと、残念だったこと、質問など、ご自由に。

- ・さて、中退予防、トキワ荘プロジェクトとどうかかわるか。  
この場の意欲を生かしたい。どうしましょう。
- ・商売の世界とは違う心の暖まる仕事があるのは素晴らしい事だと思います。
- ・遅れて話を聞けなかった。
- ・(自分も含めて)事業の内容などに意識が行ってしまい、話し合いよりも質問することに時間を割いてしまったことが残念だったこと。もっと“感じたこと”にフォーカスしてみたかった。
- ・遅れて来ましてごめんなさい。
- ・社会起業家に会えた。
- ・いろいろな視点からお話を聞いたことが良かったです。
- ・説明内容が高度すぎたか、ワールドカフェが質問に対する回答に終始してしまった。  
話を絞りこむか、事前に情報を見てきてもらうか。
- ・良かったことは、若者のために何かしようと想っている人はけっこういるってこと。
- ・残念だったことは、お金の話が中心になったり、個人の雑談が多いとつまらなくなる。
- ・注意があったのに自分ばかり話す方がいたこと。
- ・場の質的方向性
- ・みなさんのすなおな思い。全て聞きたいこと、話したいことが中途半端であった。  
深まらなかったことが残念です。
- ・色々な人の観点が聞いたのは良かったが、一人の人の話に集中し過ぎると少し残念です。
- ・気づきの多い会でした。
- ・もっと長時間シェアし合いたかったです。

**皆さん、ご一緒に場をつくってくださってありがとうございました。**